

常光寺青木氏歴代の墓

日ノ出城跡

おうぎだいら
⑧③ 扇子平城跡



扇子平城跡遠景

大輪寺 ⑧の奥に見えるけわしい山の尾根上にある城で、甘利氏の要害とされている。枳形虎口をもつ主郭があり、尾根の先端には烽火台と思われる平場がある。

⑧④ 南宮大神社



隨身門

源義光が社殿を造営し、武田信義も崇拝した。武川衆全体で神社に奉仕した記録からも、武川衆の信仰を集めた。



こうしょうじ
⑧⑦ 光照寺

薬師堂

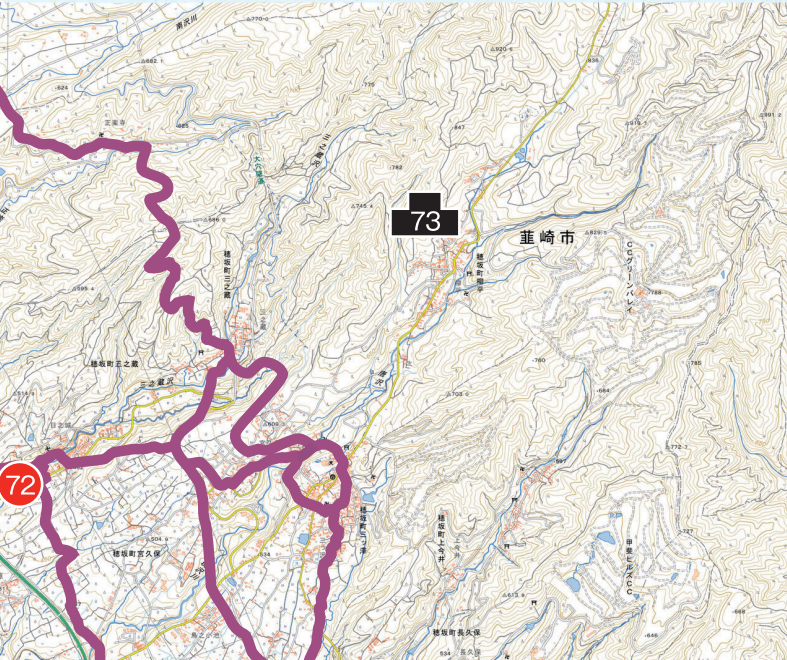
えいしやう 永正七(1510)年に武田信虎により現在の双葉中学校付近に移され、とても栄えた。武田氏滅亡の際に戦火にあい、薬師堂以外すべて焼け落ち、江戸時代初めに現在地に移された。薬師堂は室町時代後期の特色を残して国的重要文化財に指定されている。

いたび
⑨② 飯田河原合戦供養板碑



板石塔婆

飯田河原合戦は、大永元(1521)年に駿河(静岡県)の今川氏を武田信虎が迎え撃ち、大勝した戦い。信虎が合戦後に戦死者供養のために建立した板碑とされている。甲斐市指定文化財になっている。



てんたく
⑨① 天澤寺



天澤寺山門

おぶとらまさ 室町時代後半に飯富虎昌により建てた寺院。以後、飯富氏の菩提寺となり、境内には虎昌や武田四名臣である山県(飯富)昌景の墓がある。山門、六地藏幢は県指定文化財に指定されている。

じしやう
⑨③ 慈照寺



慈照寺

寺記によれば、武田氏一門とされる諸角昌清の開基と伝えられる。山門や法堂は江戸時代初期に建てられたもの。慈照寺文書は武田信虎や信玄の時代の様子を知ることができる史料であり、これらは県指定文化財になっている。

⑩⑥ 要害山(要害山城・熊城)



要害山遠景

武田氏館跡 ⑩⑤の詰め城跡が残る。山頂部に主郭が造られ、その途中には枳形虎口や堀跡、石積み門跡が残る。飯田河原合戦の時に信玄はこの城で生まれたと伝わる。

ほうしゃく
⑩⑨ 宝積寺



駒井昌直の墓

まさなお 武田氏家臣である駒井昌直が開基の寺院で、昌直自身の墓と伝わる五輪塔がある。

けいゆうん
⑩⑫ 恵運院



のぶつな 武田信繩の菩提寺で武田氏の崇敬が厚い寺院。武田信玄が寄進した水晶の数珠や、武田信廉(逍遙軒)の画である県指定文化財(絵画)「絹本著色雪田和尚画像」などがある。